

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1	6	国の定めた基準以上の広さを確保し、児童の特性に応じてスペースを適切に配置・利用しております。	余裕のある空間となっておりますが、今後も整理整頓に努め、過ごしやすい空間を作っていきます。	
	2	5	1	国の定める配置基準に従い、事業所には児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、児童10名までに職員2名を配置、それ以降は児童5名につき職員1名を増員する体制を厳守しております。必要に応じて送迎や専門職による療育も実施しております。	今後も、適切な人員を配置・確保して運営してまいります。
	3	3	3	活動用の部屋と休息用の部屋を利用状況に応じて使い分け、支度スペースから療育室への動線にも配慮しております。	現在は車椅子を利用する児童の在籍はなく、事業所は段差は少ない構造となっております。
	4	6	6	清掃・消毒を毎日実施し、利用児童にも手洗いの習慣を促しております。	今後も感染予防に気をつけながら、清潔で心地よい環境作りを努めます。
	5	6	6	その日勤務の職員が揃う時間に業務連絡や療育内容の確認をおこなう場を設けております。月1回はフレクシオン会議を実施し、全職員で支援の改善点や計画を共有できるような場を設けております。	今後も職員全体での振り返りを日々行い、業務改善に努めます。
業務改善	6	6	6	毎日、サービス提供前に職員が集まり支援内容を確認する時間を設けております。定期的な評価や課題分析、現状把握を通じて職員全体で共通理解を深めております。	意見を踏まえ、把握したうえで業務改善につなげ、事業所のより良い運営に努めてまいります。
	7	6	6	COMPASS 発達支援センターの公式 Web サイトにて情報を公開し、保護者様の意向を把握して業務改善に活かしております。	今後も、常時保護者様からのご意見をいただき、把握したうえで業務改善につなげていきたいと思っております。
	8	6	6	毎日、サービス提供前に職員が集まり支援について話し合う時間を設けております。定期的な評価、課題分析を通じて共通理解を図っております。	意見を踏まえ、把握したうえで業務改善につなげ、事業所のより良い運営に努めてまいります。
	9	2	4	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10	6	6	年計画に沿って定期的に研修を実施し、職員の資質向上に努めております。	今後も職員の資質向上のため、研修参加に努めてまいります。
適切な支援の提供	11	6	6	令和7年度に向け作成しております。	令和7年度に向け作成しております。
	12	6	6	社内共通形式の標準化されたアセスメントシートを使用しております。	今後もアセスメントシートを活用し、保護者様の意向を職員で共有していきます。
	13	6	6	児童発達支援管理責任者が中心となり、児童の現状に合った支援計画を作成し、その都度見直しをおこなっております。関係機関と連携を図り、現状と課題に沿った計画づくりに努めております。	今後もガイドラインの基本を遵守し、さらにきめ細かく一人ひとりに適した支援内容が設定できるよう取り組んでまいります。
	14	6	6	支援計画に沿った支援が行われるよう、会議等で確認しながら進めております。	今後も職員一同、情報共有、認識の一致をし、支援計画に基づいた支援をおこなってまいります。
	15	5	1	児童の適応行動については標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントを行い、日々の行動観察を併せたインフォーマルなアセスメントも実施しております。全職員で話し合い、より良い支援提供に努めております。	今後も職員で話し合いを行い、さまざまな視点から立案していきます。
	16	6	6	各項目を踏まえて作成しています。利用児童のニーズに応じて必要な項目を設定し、その上で具体的な支援内容を詳細に計画しています。	今後も同様に、適切な支援計画を作成してまいります。
	17	6	6	個別療育を基本とし、集団活動も取り入れた児童の特性に応じた支援計画を作成しております。	今後も同様に、適切な支援計画を作成してまいります。
	18	6	6	季節に応じた制作や行事を取り入れております。	今後もその都度話し合いを実施し、季節の行事を取り入れ、変化ある活動を企画してまいります。
	19	6	6	利用児童の状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせて、児童発達支援計画を作成しております。	計画に基づき、効果的な支援が行われるよう配慮しています。
	20	5	1	支援開始前に職員間で打ち合わせをおこない、その日の支援内容や役割分担を確認しております。	チームでの連携を重視し、スムーズで一貫性のある支援を提供できるよう努めてまいります。
関係機関や保護者様との連携	21	2	4	支援終了後には、職員間で必ず振り返りを行い、気配りや改善点を共有しております。	今後も振り返り・情報共有を大事に日々実施してまいります。
	22	6	6	支援内容や当日の体調等を記録し、気になる点は職員間で周知し、ミーティングノートを活用して支援の改善や検証に取り組んでおります。	経過記録は今後も主観を入れず、正確に記入しその都度振り返り活用してまいります。
	23	6	6	定期的にモニタリングを行い、現状を把握し、見直しの必要性を判断しております。	今後も定期的なモニタリングを行い、必要な場合は時期にこだわらず、適宜見直しを行ってまいります。
	24	6	6	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせることで支援を行っております。	多様な活動を通じて、児童の成長や発達を支援してまいります。
	25	6	6	児童が自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す力を育てるための支援を行っております。	自ら選択する機会を提供し、主体的に行動できるよう支援してまいります。
	26	6	6	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その児童の状況をよく理解した者が参加しております。	今後も関係機関との連携を継続し、児童発達支援管理責任者を軸に、職員が参加してまいります。
	27	5	1	関係機関と密接に連携し、支援体制を整えております。	児童の総合的な支援を実現するため、これらの機関と連絡を取り合いながら、支援内容を調整してまいります。
	28	5	1	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、児童の下校時刻の確認等)や送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っております。	学校と密に連携を図り、児童の安全と成長を支えてまいります。
	29	5	1	情報共有と相互理解を大切に、スムーズな支援が継続されるよう努めております。	今後も児童の安全と成長を支えてまいります。
	30	6	6	現在事例はありませんが、該当する場合にはこれまでの支援内容等の情報を提供し、次の支援へスムーズに移行できるよう配慮してまいります。	障害福祉サービス事業所と密に連携を図り、児童の安全と成長を支えてまいります。
保護者様への説明責任等	31	5	1	必要に応じて、専門的なスーパーバイズや助言を受ける機会を設けております。	利用児童に対してより質の高い支援を提供できるよう、継続的な改善に努めてまいります。
	32	1	5	感染予防の観点から、交流は控えております。	保護者様のご意見を伺ったうえで、機会があれば交流をおこないたいと考えております。
	33	2	4	感染予防の観点から、交流は控えております。	自立支援協議会等へ積極的に参加しております。
	34	6	6	保護者様に分かりやすい丁寧な説明を心がけております。契約時の読み合わせでは、疑問や不明点がないかを確認しながら進めております。	契約時のみならず、ご質問や再度説明のご要望があればいつでも対応させていただきます。
	35	6	6	家族の対応力向上を目的に、ペアレント・トレーニング等の家族支援プログラムや、家族等との交流の機会を設けております。	今後も引き続き、家庭でも適切な支援ができるようサポートしてまいります。
	36	6	6	送迎などの機会に保護者様のお悩みや困りごとをお伺いし、必要な助言や支援をその都度お伝えするよう努めております。	家族支援の機会にお話ししたく機会も増えたり、今後もご相談について丁寧に関わり、一緒に解決を図るよう努めてまいります。
	37	6	6	児童発達支援計画の作成にあたっては、利用児童や保護者様の意向を尊重し、児童の最善の利益を考慮することを大切にしております。	事前に意向を確認する機会を設けています。
	38	6	6	児童発達支援計画を提示しながら、具体的な支援内容を保護者様に説明し、ご理解と同意を得たうえで支援を進めております。	今後も透明性の高い支援を心掛けてまいります。
	39	6	6	家族等からの子育てに関するお悩みに対し、適切に相談を受け、必要な助言と支援をおこなっております。	利用児童に対してより質の高い支援を提供できるよう、継続的な改善に努めてまいります。
	40	6	6	感染予防や個人情報保護の観点から、地域交流は控えております。	保護者様のご意見を伺ったうえで、機会があれば交流をおこないたいと考えております。
非常時等の対応	41	6	6	ご相談や申し入れには迅速に対応できるよう体制を整えており、職員間でも共有し話し合うことを心がけております。	今後も保護者様からのご意見には、積極的に耳を傾け、迅速丁寧な対応に努めてまいります。また、保護者様にも安心していただけるよう、環境づくりを心がけ、連携が取れるよう努めてまいります。
	42	6	6	毎月子どもカレンダーや定期的なCOMPASS だよりを発行し、SNS や公式 Web サイトのブログでも情報発信をおこなっております。	今後も定期的な情報発信、ウェブサイトでの活動報告は継続し、内容の充実を図ってまいります。また、保護者様にも安心していただけるよう、カレンダーへの工夫も継続してまいります。
	43	6	6	個人情報は鍵付き書庫で保管しており、社内研修を通じて職員間で取り扱いに関する共通認識を持ってまいります。	個人情報には今後も取り扱いは十分に注意を払い、管理を徹底してまいります。
	44	6	6	それぞれの特性に応じて、口頭だけでなく書面や提示物など可能な手段を活用し、情報伝達に配慮しております。	今後も児童の特性に配慮し、保護者様へも丁寧に丁寧な説明を選択し、児童への周知を図るよう、手段を選択してまいります。
	45	2	4	感染予防および個人情報保護の観点から、地域交流は控えております。	今後も児童の安全を第一に考えて対応させていただきます。
	46	6	6	各種マニュアルは壁面に掲示し、保護者様にご覧いただけるようしております。定期的に見直しと更新も実施しております。	今後も職員による周知と訓練に努めるとともに、全体でマニュアルの再認識も行うよう努めます。
	47	6	6	非常災害に備え、業務継続計画(BCP)を策定し、定期的な避難、救出など必要な訓練をおこなっております。	今後も災害時にも対応できる体制を整えてまいります。
	48	6	6	標準化されたアセスメントツールを使用して状況把握に努めており、連絡帳等を通じて変化の確認をおこなっております。	今後もご利用前・ご利用中にも保護者様からの詳細な情報収集を継続し、職員への周知と意識づけを図り、対応に努めてまいります。
	49	6	6	指示書がある児童については保護者様と情報共有をおこない、アレルギー情報一覧表を作成して全職員に周知しております。	今後もご利用前・ご利用中にも保護者様への確認をおこない、必要な場合は医師のご指示やアレルギー情報一覧表を参考に、全職員に周知してまいります。
	50	6	6	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練を定期的に行っております。	その他にも必要な訓練を講じ、支援が安全に行われるよう、安全管理体制を強化してまいります。
51	6	6	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練を定期的に行っております。	必要な措置を講じ、支援が安全に行われるよう、安全管理体制を強化してまいります。	
52	5	1	ヒヤリハット報告を徹底し、紙面で記録・回覧し、周知ミーティングを通じて再発防止に努めてまいります。	今後もヒヤリハット報告をおこない、情報共有・職員間での認識の統一、再発防止と事故防止に努めてまいります。	
53	6	6	事業所に虐待防止責任者を選任し、内部および外部研修へ参加して認識を深めてまいります。	虐待防止には職員全員の共通理解と意識づけが必須であり、今後も定期的な研修頻度をあげ、認識一致に努めてまいります。	
54	6	6	利用契約書には原則として身体拘束の禁止を記載しており、やむを得ず必要な場合には保護者様の承諾を得て支援計画に記載しております。	今後も原則として身体拘束は行わない基本姿勢を守り、まずは沈黙化できるよう、いろいろなバリエーションに合わせた声かけや、気分の切り替えを促せるよう努めてまいります。必要な場合は保護者様に十分説明をおこない、同意を得て、個別支援計画に記載するよう努めてまいります。	

〇この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体でおこなった自己評価です。